

東大野球部 メールマガジン Vol.267

ごあいさつ

晴れた空が待ち遠しく感じる日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では夏休みに向けて一層の体作りに励んでおります。暑さに負けない元気なチームになれるよう、部員一同精進してまいりますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします！

今後の日程

<夏季オープン戦>

7月17日

11:00 vs ホグレル(B)@常総運動公園野球場

7月25日

13:00 vs 敬愛大学(A)@敬愛大G

7月28日

10:30 vs 明治学院大学(A)@明治学院大G

8月9日

13:30 vs 全浦和野球団(B)@牛島野球場

8月10日

13:00 vs 帝京平成大学(A)@長生の森公園野球場

今回の特集 「夏の思い出」

今まで小中高と様々な経験をしてきた部員に、これまでの人生で1番記憶に残っている夏の思い出について語ってもらいました。

山崎 康寛(4年・外野手・岡山朝日)



今までに1番記憶に残っている夏の思い出は、高校2年生の時の夏の大会です。この時自分はキャッチャーとして出場し、先輩とバッテリーを組んでいました。初戦の相手は公立校ながらも格上で、下馬票的には勝てないだろうみたいな声も多かったように思います。しかし蓋を開けてみればノーヒットノーランでの勝利。試合が終わった瞬間、それまでの勝利とは比べ物にならないくらいに嬉しかったのを覚えています。ノーノー達成に立ち会えたこと、それに少しでも貢献できたことは一生の思い出です。

小高峯 頌大(3年・投手・筑波大附)



小高峯投手

金子投手(3年・開成)

夏がくれば 思い出す
はるかな尾瀬 遠い空
霧のなかに うかびくる
やさしい影 野の小径
水芭蕉の花が 咲いている
夢見て咲いている水のほとり
石楠花色に たそがれる
はるかな尾瀬 遠い空
私がこの「夏の思い出」(作詞：江間章子 作曲：中田喜直)の中で1番記憶に残っているのは、"はるかな尾瀬 遠い空"の部分です。理由は2回繰り返してるからです。ちなみに2番でももう1回出てきます。皆さんも是非聴いてみてください。

菊地 悠太(2年・内野手・サレジオ学院)



自分は夏休みというと、暑い中1日中野球をしていたこと、甲子園をテレビで見たり実際に観戦しに行ったこと、家族でプロ野球を観に行ったことが思い出されます。ほとんどの夏を野球三昧で過ごしてきました。今年の夏も同じように野球だけになりそうです。野球をできることも幸せですが、もう少し野球以外の楽しい夏も過ごしてみたいものです。

長谷川 朝(2 年・内野手・沖縄尚学)



私の夏の思い出として思い出されるのは、中学3年生の夏休みにした「沖縄縦断自転車の旅」です。部活を引退して時間もあったことから当時仲の良かった2人に声をかけ、自転車で沖縄県の最北端、辺戸岬まで行って帰ってくるという計画を立てました。親に意見を聞きながらも自分で計画を立てたため食事をどこでするかもほとんど決まっていなかったような雑な旅行でしたが、何とか怪我なく帰ってくることができました。

大学の4年間は野球漬けの夏休みになると思いますが将来振り返って負けず劣らず良い夏休みだったと思えるようなものにしたいです。

編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

次回の特集は「今年の夏は！」です。部員に今年の夏、一番記憶に残ったこと、頑張ったことを語ってもらいます。どうぞお楽しみに！

次号の配信は8月11日を予定しております。今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel & Fax : 03-3811-5100

メールアドレス : office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望などございましたら、上記連絡先までご連絡ください。